

公益財団法人 地域創造基金さなぶり
2015年度 事業報告書
2015年1月1日～2015年12月31日

以下のとおり事業を実施したので、ここに報告します。

I. 事業の実績

1. 助成事業

(1) ジャパン・ソサエティ東日本大震災復興基金（協働先：英国ジャパン・ソサエティ）

- 概略：東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の3県を対象に、NPO等が行う活動に対して助成し、被災地のニーズに沿った復興支援活動とその担い手となるNPO等の成長をサポートしています。
- 今期：新規の助成は無し。第五期（最終期）として助成を決定した7事業の助成期間が2015年6月30日に終了しました。各事業について実施団体から事業終了報告書と会計報告を受領・フォローしました。
- 実績：2011年12月に第一期の助成事業が開始され、2014年12月末までに44事業、総額9,736万円の助成を決定しています。

(2) こども☆はぐくみファンド（協働先：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）

- 概略：東日本大震災によって大きな被害が発生した3県（岩手県、宮城県、福島県）で活動する、0歳～18歳までの子どもを支援しているNPO等を対象に助成金を提供しています。
- 今期：新規の助成は無し。単年度支援事業については、第五期（最終期）の事業が終了、また継続支援事業については、第二期、第三期、第四期継続の助成事業がそれぞれ最終年を終了しました。
- 実績：2012年1月に第一期の助成事業が開始され、2014年12月末までに133事業、総額3億5,368万円の助成を決定しています。

1) 第五期単年度支援事業の終了

第五期として助成を決定した6事業の助成期間が2015年9月30日に終了しました。各事業について実施団体から事業終了報告書と会計報告を受領・フォローしました。

2) 第二期継続支援事業の終了

第二期継続支援事業として助成を決定した5事業の3年目（最終年）の助成期間が2015年6月30日に終了しました。各事業について実施団体から事業終了報告書と会計報告を受領・フォローしました。

3) 第三期継続支援事業の終了

第三期継続支援事業として助成を決定した4事業の3年目（最終年）の助成期間が2015年12月31日に終了しました。各事業について実施団体から事業終了報告書と会計報告を受領・フォローします。

4) 第四期継続支援事業の終了

第四期継続支援事業として助成を決定した 9 事業の 2 年目（最終年）の助成期間が 2015 年 9 月 30 日に終了しました。各事業について実施団体から事業終了報告書と会計報告を受領・フォローしました。

5) 助成先団体の学び合いフォーラムの実施

こども☆はぐくみファンドで支援を実施している団体を対象として、今後も地域で子どもを支える団体として活動を継続していけるよう、寄付を中心とした資金調達と行政との連携・協働について学び、それぞれが今後の資金調達計画を検討する目的で、フォーラムを開催しました。

宮城県内の宿泊施設にて 6 月 7 日～8 日に開催し、計 32 団体 49 名が参加しました。

(3) フクシマ ススム プロジェクト 福島子ども支援 NPO 助成（協働先：サントリーホールディングス株式会社／公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）

- 概略：東日本大震災によって大きな被害が発生した福島県、及び福島県の県外避難者が居住している都道府県において、0 歳～18 歳までの子ども（妊産婦を含む）を支援している NPO 等を対象に、助成金を提供しています。
- 今期：新規の助成は無し。第三期（最終期）として助成を決定した 17 事業の助成期間が 2015 年 12 月 31 日に終了しました。各事業について実施団体から事業終了報告書と会計報告を受領・フォローします。
- 実績：2013 年 1 月に第一期の助成事業が開始され、2014 年 12 月末までに 57 事業、総額 2 億 4,683 万円の助成を決定しています。

1) 助成先団体の学び合いフォーラムの実施

フクシマ ススム プロジェクトで支援を実施している団体を対象として、今後も地域で子どもを支える団体として活動を継続していけるよう、寄付を中心とした資金調達と行政との連携・協働について学び、それぞれが今後の資金調達計画を検討する目的で、フォーラムを開催しました。

福島県内の宿泊施設にて 7 月 5 日～6 日に開催し、計 20 団体 36 名が参加しました。

(4) 三菱重工みやぎ・ふくしまミニファンド（協働先：三菱重工業株式会社）

- 概略：被災地における「暮らしとつながり」に焦点をあて、仮設住宅にお住まいの方々同士、あるいは地域住民の方との繋がりづくりや、雇用の機会に繋がるしごとづくりの活動を支援する助成事業を実施しています。
- 今期：第四期目の助成事業として公募を実施して、総額 400 万円の支援を決定しました。
- 実績：2012 年 12 月に第一回目の助成事業が開始され、2014 年 12 月末までに 57 事業、総額 500 万円の助成を決定しています。

第四回目の助成事業は、2 回に分けて募集を行いました。

1) 第一次募集

6 月 1 日まで公募を行い、6 月に 25 事業、総額 235 万円の助成を決定しました。事業期間は 2015 年 7 月 1 日～2015 年 12 月 31 日です。

2) 第二次募集

8 月 7 日まで公募を行い、8 月に 18 事業、総額 165 万円の助成を決定しました。事業期

間は 2015 年 9 月 1 日～2015 年 12 月 31 日です。

(5) 地福寺出開帳 両国回向院 復幸支縁基金（協働先：地福寺出開帳両国回向院 復幸支縁基金 実行委員会）

- 概略：被災された方々が一日でも早く心の平穏を取り戻すことができるよう、大きな悲しみや傷を負った心のケア、社会的に弱い立場の方々の生活を支える事業、勉強会や研修の開催を支援する事業等へ助成を実施しています。
- 今期：第一期目の助成事業として公募を実施して、総額 810 万円の支援を決定しました。

1) 助成事業

2015 年 2 月 16 日まで公募を行い、3 月に 19 事業、総額 810 万円の助成を決定しました。事業期間は 2015 年 4 月 1 日～2015 年 12 月 31 日です。

(6) アーツエイド東北・芸術文化支援事業（協働先：一般財団法人アーツエイド東北）

- 概略：東日本大震災で被害を受けた岩手・宮城・福島に活動拠点を置く芸術家・アーティストへの支援を通じて、地域の芸術文化シーンがより豊かに、多様になるために、作品創造やその継続を支援する助成事業を実施しています。
- 今期：第一期目の助成事業として公募を実施して、総額 150 万円の支援を決定しました。

1) 助成事業

2015 年 2 月 12 日まで公募を行い、3 月に 9 事業、総額 150 万円の助成を決定しました。事業期間は 2015 年 4 月 1 日～2015 年 10 月 31 日です。

(7) 真如苑 いわて・地域のきずな助成（協働先：真如苑）

- 概略：岩手県において、仮設住宅や災害公営住宅にお住まいの方々同士、あるいは地域住民の方とのつながりづくりのため、自治会や町内会などの住民組織・地縁組織が行う「地域のきずな」を深める取組みを支援する助成事業を実施しています。
- 今期：第一期目の助成事業として公募を実施して、総額 150 万円の支援を決定しました。

今期は 2 回に分けて募集を行い、支援先を決定しました。

1) 第一次募集

9 月 14 日まで公募を行い、10 月に 7 事業、総額 65 万円の助成を決定しました。事業期間は 2015 年 11 月 1 日～2016 年 3 月 31 日です。

2) 第二次募集

11 月 16 日まで公募を行い、12 月に 10 事業、総額 85 万円の助成を決定しました。事業期間は 2016 年 1 月 1 日～2016 年 4 月 30 日です。

(8) 西松建設まちづくり基金（協働先：西松建設株式会社）

- 概略：宮城県名取市において、地域づくりに取り組む市民の活動を支援する事業を実施しています。当財団は、(特活) せんだい・みやぎ NPO センター、(一社) みやぎ連携復興センターとともに、本事業の事務局を担当しており、助成事業の実施、研修事業の実施等を担いました。
- 本基金の助成事業（西松建設まちづくり基金 まちづくり助成）では、名取市内で取り組

まれる「より良いまちづくりとコミュニティの関係や連携を更に強めていく」NPO等の活動を対象に募集を行いました。西松建設まちづくり基金の事業では、上記助成事業の他に、名取市における復興や、暮らしやすい「まちづくり」を推進するため、地域内の多様な連携を応援する活動を実施しました。

➤ 今期：第一期目の助成事業として公募を実施して、総額 250 万円の支援を決定しました。

1) 助成事業

募集は 2 回に分けて行い、今期はその第一期募集につき、10 月 31 日まで公募を行い、11 月に 7 事業、総額 65 万円の助成を決定しました。事業期間は 2015 年 12 月 1 日～2016 年 2 月 29 日です。

2) 名取市地域づくり事業キックオフフォーラムの実施

本基金の事業開始にあたり、名取市民やまちづくりに取り組む関係者に、本事業の内容を広く周知することを目的に、10 月 14 日、名取市地域づくり事業キックオフフォーラムを開催しました。名取市でまちづくりに取り組む NPO や町内会の方、地元企業の方々など、113 名が参加しました。

3) なとり復興塾の開催

阪神・淡路大震災による神戸での経験や東北各地の復興事例をケーススタディとして参照しながら、これからの名取のまちづくりを担うリーダーに必要な視点や知見を学ぶため、11 月に開講しました。2016 年 2 月まで全 4 回開講しています。

(9) 東北オープンアカデミー

➤ 概略：2 泊 3 日の東北へのスタディツアーを通じて、大災害から立ち上がった東北のリーダーとともに現場を巡り、議論し、未来の可能性を探る機会を提供する「東北オープンアカデミー」事業を実施しました。当財団は、(特活) ETIC.とともに、研修事業の一環として、本事業の事務局を担当しています。

➤ 今期：東北 3 県の先進地域 14 カ所が参画。全 20 回のフィールドワークが開催され、134 名が参加しました。また、フィールドワークに参加し、かつ地域と関連するテーマや切り口で起業またはプロジェクトを実施している（または、予定がある）方を対象に、ビジネスプランやプロジェクトのアイディアを 10 月 31 日まで募集しました（アイデアピッチ 2015）。

1) 助成事業（アイデアピッチ 2015）

10 月 31 日まで公募を行い、12 月に 5 事業、総額 105 万円の助成を決定しました。事業期間は、2016 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日です。

2. 受託事業

(1) 中小企業庁「地域需要創造型等起業・創業促進事業」（創業補助金）

➤ 概略：起業・創業を行う事業者に対して、創業に要する経費の一部を補助する制度で、新たな需要や雇用の創出により、地域経済を活性化することを目的に、2013 年に創設されました。当財団は、本事業の全国事務局である独立行政法人中小企業基盤整備機構からの委託により、岩手県・宮城県・福島県の運営事務局を担当しています。

➤ 今期：事業が終了した案件について、個別に検査を行いました。なお、本事業は現在も継続していますが、第三年度（平成 26 年度補正予算）以降については、事務局が一本化さ

れ、全国一括として一組織に委託する方針となったため、当財団は本事業から撤退しました。

- ▶ 実績：本事業では2014年12月末までに、第一年度（平成24年度補正予算）で246事業、総額6億3,800万円、第二年度（平成25年度補正予算）で115事業、総額2億3,000万円の補助金採択が決定されています。

1) 事業完了案件の確定検査

本事業は精算払い形式のため、事業完了後に確定検査を行い、資金を交付します。今期は、事業者から提出された事業完了報告書の確定検査を実施し、216事業、総額4億637万円の補助金を交付しました。

（交付された補助金は経理上、預り金で処理されるため、当財団の決算報告書では収益・費用に計上されていません）

2) 事業化等状況報告書の受領

本事業では、事業者は事業完了後5年間、事業化等の状況を報告する義務があります。当財団は、事業完了後も本事業の運営事務局として、事業者から提出された「事業化等状況報告書」を確認・精査し、補助金交付後も事業の趣旨に反することなく事業が円滑に行われていることを確認しています。

3. 研修・啓発事業

(1) データプロジェクト

- ▶ 震災からの復興状況と課題について、客観的なデータをもとに状況を明示するためのプロジェクトチームを、今期発足させました。東北大学他、関係機関とも連携して、データ収集、分析作業を実施。地域の状況をわかりやすく整理した結果を「TOHOKU INDEX 2015」としてまとめ、以下のシンポジウムで発表しました。

- 1) 11月16日「地方創生チャレンジ in 東北」於：東京、参加者170名
- 2) 11月30日「復興から地方創生へ～復興・創生期における自治体と企業の在り方～」於：仙台、参加者50名
- 3) 12月14日「復興から地方創生へ～企業の役割と地域のニーズ」於：東京、参加者30名

(2) 他機関との連携

1) 一般社団法人 全国コミュニティ財団協会

全国コミュニティ財団協会人は、コミュニティ財団の健全な発展を通じて、市民社会のより一層の成熟と市民が主体的に取り組む地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的として設立をしたコミュニティ財団の全国組織です。

当財団は、本協会の加盟団体であり、また当財団の専務理事・事務局長が協会の副会長を務めています。

今期は、本協会が実施する以下の事業に協働参画しました。

- 全国のコミュニティ財団・市民ファンドに関わる基礎調査事業
- 米国のコミュニティ財団に関する研究事業
- コミュニティ財団の取組みに関する周知・啓蒙事業
- コミュニティ財団運営基準の策定事業

2) 休眠口座国民会議

長い間引き出しや預け入れなどの取引がされていない「休眠口座」は年間 800 億円に及んでおり、これを活用して、社会の課題を解決していこうというムーブメントが高まっています。4 月下旬には超党派の議員連盟が結成され、また民間ソーシャルセクター有志によって結成された「休眠口座国民会議」が、全国キャラバンで国民的議論を広げています。

当財団では「休眠口座全国会議」と連携しながら、仙台で開催された以下 2 回のフォーラムを後援、共催しました。

- 6 月 18 日「休眠預金活用推進フォーラム in 仙台 ～休眠預金が創造する新たな共助社会～」
- 10 月 29 日「休眠預金を活かして日本の新しい未来を創造するための意見交換会」

3) 講演等

関係機関からの要請で講演等を行い、震災からの復興の実情と課題の紹介、コミュニティ財団のビジョン共有、助成金申請に向けた企画の立て方等を実施しました。

II. 事業の運営

1. 会議実績

(1) 評議員会

- 1) 第 1 回 --- 2015 年 3 月 26 日 (木)
 - 第 1 号議案 2014 年 1-12 月事業報告書の承認
 - 第 2 号議案 2014 年 1-12 月決算報告書の承認
 - 第 3 号議案 理事の選任
 - 第 4 号議案 監事の選任
 - 第 5 号議案 評議員の選任
- 2) 第 2 回 (書面決議) --- 2015 年 4 月 10 日 (金)
 - 第 1 号議案 監事の選任

(2) 理事会

- 1) 第 1 回 --- 2015 年 3 月 9 日 (月)
 - 第 1 号議案 2014 年度事業報告書の承認
 - 第 2 号議案 2014 年 7-12 月決算報告書の承認
 - 第 3 号議案 評議員会の招集
 - 第 4 号議案 2015 年度助成事業の支援先決定権限 - 執行役員会への権限委譲
 - 第 5 号議案 審査委員の追加承認
- 2) 第 2 回 (書面決議) --- 2015 年 3 月 26 日 (木)
 - 第 1 号議案 代表理事、業務執行理事の選定
 - 第 2 号議案 評議員会 (決議の省略による) の招集および目的である事項等
- 3) 第 3 回 --- 2015 年 4 月 13 日 (月)
 - 第 1 号議案 代表理事、業務執行理事の選定に関する決議の確認
- 4) 第 4 回 --- 2015 年 6 月 13 日 (土)
 - 第 1 号議案 「三菱重工 みやぎ・ふくしまミニファンド」の支援先決定権限 - 執行役員会への権限委譲

- 5) 第5回 --- 2015年8月6日(木)
 - 第1号議案 支援先決定と理事会への報告
 - 第2号議案 真如苑助成事業の支援先決定権限 ー 執行役員会への権限委譲
 - 第3号議案 審査委員の追加承認
 - 第4号議案 融資・債務保証事業の申請
 - 第5号議案 アカウント型寄付プログラムの実施
 - 第6号議案 遺贈・相続に関わる取組み/福島事務所(遺贈相談センター)の開設
- 6) 第6回 --- 2015年9月17日(木)
 - 第1号議案 担当理事制の導入
 - 第2号議案 アカウント型寄付プログラム
 - 第3号議案 福島・遺贈相談センター
 - 第4号議案 資金調達活動
- 7) 第7回(書面決議) --- 2015年11月19日(木)
 - 第1号議案 「西松建設まちづくり基金 まちづくり助成」の支援先決定権限 ー 執行役員会への権限委譲
 - 第2号議案 審査委員の追加承認
- 8) 第8回 --- 2015年12月14日(月)
 - 第1号議案 発災後5年の区切りへ向けた当財団としての対応
 - 第2号議案 担当理事制の導入
 - 第3号議案 資金調達活動
 - 第4号議案 2016年度事業計画の承認
 - 第5号議案 2016年度収支予算の承認
 - 第6号議案 審査委員の追加承認

(3) 執行役員会

執行役員会は、理事会で決定された業務の執行のうち、「当財団の経営全般に関する事項」および「当財団の重要な業務執行に関する立案・承認に関する事項」を審議する機関で、当財団の理事長、副理事長、専務理事をもって構成されています。

- 1) 第1回 --- 2015年1月14日(水)

(主な議事) 役員改選、昇給・期末手当、資金調達事業、理事会・評議員会の日程調整
- 2) 第2回 --- 2015年2月10日(火)

(主な議事) 役員改選、理事会の議事、評議員会の議事、2014年度7-12月決算
- 3) 第3回 --- 2015年3月9日(月)

(主な議事) 役員改選、理事会の議事、評議員会の議事、2014年度7-12月決算、助成事業の審査会結果
- 4) 第4回(書面決議) --- 2015年3月10日(火)

(主な議事) 助成事業の支援先決定
- 5) 第5回 --- 2015年3月27日(金)

(主な議事) 助成事業の支援先決定、役員改選、理事会の議事、戦略策定のための方策
- 6) 第6回 --- 2015年4月15日(水)

(主な議事) 戦略策定のための方策
- 7) 第7回 --- 2015年5月20日(水)

(主な議事) 戦略策定のための方策、さなぶりを支える会、創立記念日・夏季休暇

- 8) 第 8 回 --- 2015 年 6 月 16 日 (火)
(主な議事) 戦略策定のための方策、さなぶりを支える会、理事会・評議員会の日程調整
- 9) 第 9 回 --- 2015 年 6 月 29 日 (月)
(主な議事) 助成事業の支援先決定、支援先決定に関する理事会への報告
- 10) 第 10 回 --- 2015 年 7 月 17 日 (金)
(主な議事) 支援先決定に関する理事会への報告、資金調達活動、理事会・合同役員会の議事
- 11) 第 11 回 --- 2015 年 8 月 10 日 (月)
(主な議事) 支援先決定に関する理事会への報告、資金調達活動、理事会の議事・日程
- 12) 第 12 回 --- 2015 年 8 月 31 日 (月)
(主な議事) 助成事業の支援先決定、支援先決定に関する理事会への報告、遺贈推進会議、資金調達活動、理事会・合同役員会の議事、会計監査業務契約、監事の後任
- 13) 第 13 回 --- 2015 年 9 月 10 日 (木)
(主な議事) 支援先決定に関する理事会への報告、遺贈、理事会・合同役員会の議事、監事の後任
- 14) 第 14 回 --- 2015 年 10 月 5 日 (月)
(主な議事) 担当理事制の導入、理事会決定事項の確認、資金調達活動、災害時の緊急支援金要請への対応、監事の後任
- 15) 第 15 回 (書面決議) --- 2015 年 10 月 23 日 (金)
(主な議事) 助成事業の支援先決定
- 16) 第 16 回 --- 2015 年 10 月 29 日 (木)
(主な議事) 資金調達活動、理事会の日程調整、監事の後任
- 17) 第 17 回 --- 2015 年 11 月 24 日 (火)
(主な議事) 助成事業の支援先決定、資金調達活動、理事会の議事、監事の後任
- 18) 第 18 回 --- 2015 年 12 月 18 日 (金)
(主な議事) 助成事業の支援先決定、資金調達活動、監事の後任
- 19) 第 19 回 (書面決議) --- 2015 年 12 月 25 日 (金)
(主な議事) 助成事業の支援先決定

2. 役員に関する事項

(1) 評議員

今期は評議員の改選期であり、3月26日の評議員会において、以下11名の評議員が選任されました。

伊藤 浩子 (再任)、岩本 正敏 (再任)、大槻 文郎 (新任)、小澤 義春 (再任)、熊谷 真人 (新任)、佐々木 勇 (再任)、佐山 富雄 (新任)、鈴木 孝男 (再任)、新川 達郎 (再任)、深尾 昌峰 (再任)、渡辺 元 (再任)

大槻 文郎評議員は、一身上の都合により、7月31日付で辞任されました。

(2) 理事

今期は理事の改選期であり、3月26日の評議員会において、以下13名の理事が選任されました。

赤沼 聖吾（新任）、大滝 精一（再任）、大橋 和彦（新任）、鹿野 順一（新任）、後藤 尚人（再任）、強口 暢子（再任）、齋藤 孝志（再任）、笹氣 光祚（再任）、白川 由利枝（再任）、鈴木 祐司（再任）、二階堂 宏樹（新任）、野澤 令照（再任）、山田 淳（新任）

3月26日の理事会において、理事の中から代表理事及び業務執行理事を以下のとおり選定しました。

代表理事・理事長	大滝 精一
業務執行理事・副理事長	笹氣 光祚
業務執行理事・専務理事	鈴木 祐司

(3) 監事

今期は監事の改選期であり、3月26日の評議員会において、以下2名の監事が選任されました。

内野 恵美（新任）、小野澤 瑞大（新任）

また、4月10日の評議員会において、以下1名の監事が選任されました。

鈴木 祐太郎（新任）

小野澤 瑞大監事は、一身上の都合により、9月30日付で辞任されました。

3. 事務局体制

(1) 組織体制

- 1) 期首は20人が在籍していましたが、事業の進捗にあわせて雇用期間を延長し、その後当初の予定どおり、期間満了にて今期中途に契約終了した職員が5人います。
- 2) 助成事業担当者が産休明けで職務に復帰しました。
- 3) 資金調達業務強化のため専任担当者1人の雇用の他、総務・経理業務担当者、助成事業・創業補助金事業の事務局担当として計2名を、派遣会社からの派遣社員で補充しました。
- 4) 創業補助金事業の2月末までに確定検査業務対象261事業の検査の完了に伴い、当該業務担当者7人の内4名が2月末で雇用期間満了として退職し、3人を12月末まで期間を延長しました。
- 5) 助成事業担当者2名、広報業務担当者1名が転職・関東に戻るとして、またプロジェクト支援担当者1名が雇用期間満了として今上半期に退職しました。そのほか、資金調達専任担当者1名が下半期に退職しました。

(2) 各事業の人員配置（2015年12月末現在、事務局長を含め12名）

- 1) ソーシャル・ファイナンス：5名
- 2) 助成事業担当：3名（派遣社員1名を含む）
- 3) プロジェクト支援：1名
- 4) 経理・総務：2名（派遣社員1名を含む）

※2016年1月1日現在の新体制としては、上記各項目それぞれ1人、2人、専任0人、1人で、事務局長を加えて計5人の体制になりました。（派遣社員は0人）

4. 財団運営活動

(1) 広報活動

1) 事業活動報告書の制作

当財団が設立された 2011 年 6 月から 3 年間の事業活動に関する報告書を制作、2015 年 2 月に刊行しました。本冊子では、設立以来 3 年間の事業活動の振り返りと今後に向けたビジョンの提起を行っています。

2) ウェブサイトのリニューアル

地域の現状と課題、当財団の支援対象と役割をより明確に伝えるため、ウェブサイトのトップページをリニューアルし、9 月から新しく資金調達に関するページが追加されました。

3) NHK ウィークエンド東北での紹介

当財団の活動を NHK 仙台放送局が取材し、10 月 3 日放送の「ウィークエンド東北」の番組中で紹介されました。放映時間は約 10 分で、コミュニティ財団が地元で果たしている役割が、支援先への取材も交えて簡潔に伝わる内容でした。

(2) 資金調達活動

1) 個別組織との折衝：

助成事業を検討している法人等を個別に訪問し、当財団の事業紹介と助成事業に関する折衝を行いました。その結果、新規のドナーからの資金による助成事業を実施することができました。

2) 東北内外の企業・関係組織との連携の在り方研究

企業向けに支援意向調査を実施。東北への支援意向のありそうな企業を個別に訪問し、当財団の事業紹介と先方の意向確認を行いました。具体的な支援事業実施には至らなかったものの、今後の当財団との関係性維持につながりました。

3) 資金調達ワークショップの開催

当財団の役職員を対象に、今後の当財団の目指す方向性と資金調達活動について議論するワークショップを 6 月 13 日に開催しました。また、当財団の有志職員で構成する資金調達プロジェクトチームを発足させ、資金調達に関する研修やワークショップを実施しました。

4) 遺贈・相続に係る寄付

相続財産を寄付したい、との意向に応えるため、遺贈・相続に関する相談窓口を、福島県郡山市の会計事務所内に開設しました。また、仙台の税理士勉強会において、当財団の事業紹介と相続財産の寄付に関する説明を行いました。

5) 「寄付のチカラ」イベントの開催

寄付を広めていくキャンペーン「寄付月間～Giving December～」が 12 月に全国で実施されましたが、このキャンペーンの一環として、11 月 30 日に当財団主催で「寄付のチカラ～地域のささえあい、東北から～」イベントを開催しました。地域で寄付活動や地域づくりに取り組んでいる方々をゲストスピーカーとしてお招きして、講演、パネルディスカッション等を行い、寄付にご関心のある方々約 60 名が参加されました。

6) 「寄付ストーリー」の募集・表彰

11 月 30 日の「寄付のチカラ～地域のささえあい、東北から～」イベントに合わせて「寄付ストーリー」を募集。①寄付者部門、②寄付の受け手部門、③寄付提案部門 --- の 3 部門で、それぞれ寄付にまつわる自らの物語を公募しました。13 件の応募作の中から、共感大賞、感動大賞、情熱大賞が選ばれ、当日のイベントでは、それぞれの寄付ストーリーの紹介

と受賞者の表彰を行いました。

(3) 当財団への寄付

1) 寄付金受領額

当財団は、多くの個人・法人の方々からの寄付で支えられています。

今期は、3月から新プログラム「テーマ型寄付」が加わり、以前より継続している「さなぶり・いしずえ基金」と合わせて、以下の寄付金を受領しました。

- テーマ型寄付 --- 32名の寄付者の方から、計236万円のご寄付
- さなぶり・いしずえ基金 --- 26名の寄付者の方から、計46万円のご寄付

2) 当財団への寄付金の寄付金控除

当財団への寄付については、法人の場合、法人税計算上、損金算入される寄付金控除の限度額が拡大されます。また、個人からの寄付については、税額控除に係る証明書が内閣府より発行されており、確定申告の際、所得控除または税額控除のいずれかを選択して適用することができます。

5. ドナー

(1) 事業協働パートナー

- 英国 ジャパン・ソサエティ
- 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- サントリーホールディングス株式会社
- 三菱重工業株式会社
- 地福寺出開帳両国回向院 復幸支縁基金 実行委員会
- 一般財団法人アーツエイド東北
- 真如苑
- 西松建設株式会社

(2) 財団の運営パートナー

- 公益財団法人 日本国際交流センター
- フィディリティ財団
- 米国 ジャパン・ソサエティ

以上

III. 附属明細書

本事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しないこととします。

添付資料

1. 助成事業実績

資金提供事業の実績(2015年1月~12月決定分)

■ 拠出者:三菱重工株式会社

事業名	対象地域	対象事業	申請件数	申請額	助成規模	助成件数	助成決定額	申請対助成件数	申請対助成金額
三菱重工 みやぎ・ふくしまミニファンド (第一次募集)	宮城県 福島県	①コミュニティ形成(連携やつながりづくり)を図ろうとする活動 ②住民が主体、或いは雇用の機会につながる自立的復興の 為のしごとづくりに関する活動	37	3,550,000	50,000 - 100,000	25	2,350,000	67.6%	66.2%
三菱重工 みやぎ・ふくしまミニファンド (第二次募集)			23	2,250,000	50,000 - 100,000	18	1,650,000	78.3%	73.3%

<審査会の審査委員について>		人数	職名
第一次募集	3	3	大学教員・研究員 1名、新聞通信社編集委員 1名、社会福祉法人・団体役員 1名
第二次募集	4	4	大学教員・研究員 1名、新聞通信社編集委員 1名、社会福祉法人・団体役員 1名、特別寄付事業の寄付者側責任者 1名

■ 拠出者:地福寺出開帳両国回向院 復幸支縁基金 実行委員会

事業名	対象地域	対象事業	申請件数	申請額	助成規模	助成件数	助成決定額	申請対助成件数	申請対助成金額
地福寺出開帳 両国回向院 復幸支縁基金	岩手県 宮城県 福島県	東日本大震災の被災者を対象とした、①メンタルヘルスケア、 ②グループケア、③子ども・子育て支援、④社会的弱者(障がい者・高齢者・ひとり親世帯・生活困窮者・外国人等)支援の 事業	48	21,740,000	- 500,000	19	8,100,000	39.6%	37.3%

<審査会の審査委員について>		人数	職名
	3	3	大学教員・研究員 1名、社会福祉法人・団体役員 1名、特別寄付事業の寄付者側責任者 1名

■ 拠出者:一般財団法人アーツエイド東北

事業名	対象地域	対象事業	申請件数	申請額	助成規模	助成件数	助成決定額	申請対助成件数	申請対助成金額
アーツエイド東北・芸術文化 支援事業	岩手県 宮城県 福島県	岩手、宮城、福島県に活動拠点を置き、活動をしているア ーティスト・集団 文化芸術による、岩手・宮城・福島での文化芸術活動	39	10,450,000	100,000 - 300,000	9	1,500,000	23.1%	14.4%

<審査会の審査委員について>		人数	職名
	3	3	新聞通信社編集委員 1名、公益法人役員 1名、特別寄付事業の寄付者側責任者 1名

■ 拠出者:真如苑

事業名	対象地域	対象事業	申請件数	申請額	助成規模	助成件数	助成決定額	申請対助成件数	申請対助成金額
真如苑 いわて・地域のきずな助成 (第一次募集)	岩手県	東日本大震災で被災した住民同士の交流促進や、住民主体 で地域づくりを行う活動	8	750,000	- 100,000	7	650,000	87.5%	86.7%
真如苑 いわて・地域のきずな助成 (第二次募集)			14	1,189,000	- 100,000	10	850,000	71.4%	71.5%

<審査会の審査委員について>		人数	職名
第一次募集	4	4	新聞通信社編集委員 1名、非営利活動法人・団体役員 1名、大学教員・研究員 1名、特別寄付事業の寄付者側責任者 1名
第二次募集	4	4	新聞通信社編集委員 1名、非営利活動法人・団体役員 1名、大学教員・研究員 1名、特別寄付事業の寄付者側責任者 1名

■ 拠出者:西松建設株式会社

事業名	対象地域	対象事業	申請件数	申請額	助成規模	助成件数	助成決定額	申請対助成件数	申請対助成金額
西松建設まちづくり基金 まちづくり助成	宮城県名取市	「より良いまちづくりとコミュニティの関係や連携を更に強めて いく」非営利の活動	7	700,000	- 100,000	7	650,000	100.0%	92.9%

<審査会の審査委員について>		人数	職名
	3	3	大学教員・研究員 1名、地方自治体職員 1名、公益法人役員 1名

■ 拠出者:東北オープンアカデミーへの参加者

事業名	対象地域	対象事業	申請件数	申請額	助成規模	助成件数	助成決定額	申請対助成件数	申請対助成金額
東北オープンアカデミー「ア イデアビッチ2015」	岩手県 宮城県 福島県	2015年2~5月に開催された東北オープンアカデミーのフィール ドワークに参加し、かつ地域と関連するテーマや切り口で 起業またはプロジェクトを実施している(または、予定がある) 方から提案を募集	10	---	100,000 - 500,000	5	1,050,000	50.0%	---

<審査会の審査委員について>		人数	職名
	4	4	公益法人役員 1名、非営利活動法人・団体役員 2名、企業広報・CSR担当責任者 1名

	申請件数	申請額	助成件数	助成決定額	申請対助成件数	申請対助成金額
合計	186	40,629,000	100	16,800,000	53.8%	41.3%